



卒業証書授与式にあたって

校長 高田 篤志

3月17日に6年生49名が本校を巣立っていきました。

全員に卒業証書を渡し、笑顔いっぱいの子供たちを送り出すことができたことには、感慨深いものがありました。最後に校門から校舎に向かって「ありがとうございました！」と元気にお礼を言って帰っていく素敵な子供たちでした。

卒業証書授与式で伝えたこと（抜粋）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。しけ絹でつくったコサージュも素敵ですね。皆さんとは、2年間共に学びました。昨年度は、総合的な学習の時間に「新大正おにぎりうま笑顔」と名付けたもち米を育てて収穫し、そのおいしさをより多くの方に届けようと町中にポスターを貼って販売し、地域の方にたいへん喜ばれました。また、富山駅でも販売し、城端の魅力を観光客等に発信することができました。

6年生になった皆さんは、最高学年として、持ち前の行動力や団結力を生かし、学校生活の多くの場面でリーダーの役割を果たし、本校の重点目標「みんなで笑顔を生み出すチームJ(+1)」が目指す姿を、行動で示してくれました。

「城端の未来を考えよう、城端地域がんばろうプロジェクトJ6」の学習では、城端地域活性化協議会「城端コネクト」未来部会の一員として、城端の魅力発信や課題解決に多くの提言ができました。池田航さんとコラボし「まぜて完成！航君とJ6のなんとの彩りビビンバ」を完成させ、南砺市の給食メニューに採用されました。その他、様々なイベントを開催し、城端の活性化に貢献しました。

4月からは、中学生です。そんな皆さんに、私から一つだけ大切にしてほしい言葉を贈ります。それは「人生は城づくりに似ている」という言葉です。城端には「城」という文字が入りますね。能登の宿泊学習では、砂浜で城づくりに挑戦しました。皆さんの人生は、その城づくりに似ていると思うのです。学校で勉強する期間は、お城の土台、地面をしっかりと固める期間です。多くの出会いに感謝し、たくさんのことを学び、地震がきても揺らがないどっしりとした土台を仕上げてください。その後の自分の人生は自分で決めます。お城のデザインは自分で自由に決めてください。自分の城づくりのために毎日の一つ一つの行動に心を込めてください。それは、あなたがつくるお城の立派な柱や壁になっていきます。辛いことがあっても決して諦めず、投げ出さず、向き合ってみてください。柱がどんどん太く頑丈になるはずですよ。どうしても困ったときは、周りの人に頼ってください。

ひたむきに生きていれば、たくさんの人が助けてくれます。そして、目の前の課題をこつこつと成し遂げていくうちに、きっと最後には、あなただけのあなたの人生という立派なお城が建っているはずですよ。どうぞ、一生をかけて自慢の城を築き上げてください。皆さんのことを、ずっと応援しています。

